

高齢者の総合相談窓口です ちいきほうかつしえん 地域包括支援センターだより

白糠町役場 保健福祉部 介護福祉課 介護支援係

第 60 号

(白糠町地域包括支援センター) ☎2-2171 内線527. 528 (令和5年9月発行)

生活・介護支援サポーターの学習会を行いました

7月7日(金)に「相手に寄り添うコミュニケーション」というテーマで、一般社団法人 北海道 地域福祉コンサルの代表理事 菅原昌子氏を講師に招き、学習会を実施しました。

特に話を「聴く」ことに焦点をあて、相手の言葉をそのまま受け止めることの大切さ、聴く側の心のゆとりが相手への安心感に繋がるということ学びました。



現在、お一人暮らしの高齢者の中には「話し相手が欲しい」という方が多くいらっしゃいます。白糠町では、安心して暮らし続けられる町づくりを目指し、希望者のお宅に生活・介護支援サポーター(コミサポ)が訪問し、話し相手となる活動を展開する予定です。

コミサポとは

コミ~コミュニケーション(意思を伝え合う、交流を図る等)、コミュニティ(地域社会、共同体)
サポ~サポーター

脳トレにチャレンジ!

1つだけ違う文字は何?

①
ねねねねねねねねねね
ねねねねねねねねねね
ねねねねねねねねねね
ねねれねねねねねねね
ねねねねねねねねねね

②
説説説説説説説説説説
説説説説説説説説説説
説説説説説説説説説説
説説説説説説説説説説
説説説説説説説説説説

線で繋いでできる慣用句は?

例
寝 出 世 □ 縁
・ 出 世 □ 縁
・ 起 鼻 耳 車
・ 起 鼻 耳 車
・ のる やく にみず をかつぐ をくじく

例:「寝耳に水」



答えは裏面へ

認知症コラム第4回

「早期発見・早期受診」「認知症の人への対応のポイント」

前回の地域包括支援センターだよりでは、認知症コラムをお休みさせていただきましたので、今回は「早期受診・早期発見」「認知症の人への対応のポイント」の2本立てで掲載いたします。

早期発見・早期受診



【早期発見による3つのメリット】

◆早期治療で改善も期待できる

早期に発見し、治療を開始することで改善が期待できることがある

◆進行を遅らせることができる

認知症の症状が悪化する前に適切な治療やサポートを行うことによって、進行を遅らせることができる場合がある

◆事前に様々な準備ができる

早期治療によって、症状が軽いうちに本人や家族が話し合い、「認知症に向き合うための準備」を勧めることができる

【受診の流れ】

かかりつけ医に相談

病歴や体質を把握しているため
すばやく対応できる



必要時、専門医療機関と連携

もの忘れ外来や脳神経外科等の専門医療機関
に受診できるよう、調整してくれる

医療機関への受診が難しいときには、地域包括支援センター（役場介護支援係）にご相談ください。

認知症の人への対応のポイント 誰もが心地よいと感じる当たり前の対応です

まずは見守る

余裕をもって
対応する

おだやかな表情で

後ろから
声をかけない

優しい口調で

一言ずつ、ゆっくり、
はっきり話す

相手の言葉に
耳を傾ける